



まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

陳情書 審査結果



国のエネルギー基本計画に意見書を提出してください

この陳情書は、署名 269 筆を添えて生活クラブ寄居支部とともに 6 月議会へ提出しました。通常、陳情書は本会議にて全文が読み上げられて終わりといった取り扱いでしたが、今回の陳情書は「国へ意見書を議会から提出してください」といった内容でもあり、全員協議会で審査されましたという通知が届きました。(6月23日付)



結果は賛成少数により不採択

1 票差だったという事を某議員さんから知らされました。全員協議会での発言は公開されていないためなぜ反対なのかの理由は明らかにされてはいませんが、陳情の主旨は全議員が、賛成だったようです。ではなぜ?数年前に同様に国への意見書を求める請願を提出したことがありました。その時では、国、県でも取り組んでいることなのだから何も町から意見書を挙げなくてもよいのではないか、といった声があったと聞きました。お上にたてつくような感覚なのか、どうにも摩訶不思議な理屈がまかり通っているようです。今回もそれに近い理由で反対をした議員が半分以上いた? 地域から町民から国、県でも推進していることに積極的に後押しをしていくことがなぜできないのか、ふしぎな不思議な議会としか思

えません。過去、まちネット寄居、生活クラブ生協寄居支部は共催でたくさんの請願や陳情書、意見書などを挙げてきました。もし団体への偏見があってならあまりにも感覚がずれています。どこの団体から提出されたかではなくどんな内容なのか、主旨をしっかりとらえての賛否であるべきです。それが本来の町民から付託されたといえる議員の役割なのではないでしょうか?



2030 年は未来への分岐点

私たちの要望主旨は「再生エネルギー電力目標を

2030年までに40～60%に、原子力発電および石炭火力発電は段階的に縮小し、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギーを推進する政策への転換を早急にすすめてください」といったものでした。国のエネルギー政策の中長期方針を示すエネルギー基本計画改定案が7月21日に示されました。それによると、2030年電力構成で再生エネルギーが36～38%(現行22～24%)に引き上げられましたが、私たちの要望には届きません。また原発での比率は20～22%で現行維持となっています。原発コストの優位性が崩れた今、なぜ固執するのか？さすがに原発新規増設に関する記載は見送られたようですが、それでも与党議員からは、新規増設の声が高まっている現実があります。今回の基本計画が、本当に実効性のある数値となるのか、気候危機の高まる中、私たちの暮らしの大転換を本気で取り組めるのか、「2030年は未来への分岐点、私たちは今、人類の未来を左右する10年に突入したことは確かです、待たなしの状況に追い込まれていると痛感します。

秀子



初めての議会傍聴

3人で町役場5階へ。ドアを入れて本日の定例会の提出案件等一覧A5判1枚を取り傍聴記録に名前を記入します。更に入って右に傍聴席、100席以上あるでしょうか。私達の他には誰もいません。左側は吹き抜けになっていて下方に議場が見えます。私たちが座った位置から向かって正面奥、階段状の上段中央に議長席、その左右に議会事務局、町長他関係者が座ります。議員席は手前に在り座った位置から

では見えません。寄居町の議場がこんな立派な造りになっているなんて！と実際目にして驚きと感心。

議長の主導により本会議が始まりました。議事は淀みなく進みます、もっと間延びした感じかと思っただけでしたがスマートな進行、中々好い感じです。

陳情は諸報告の最後のほうに読み上げられました。その時、傍聴のベテランYさんが立ち上がり下を見えています。どうしたのかと思ったら、陳情書を読み上げている間の議員さん達の様子を観察。傍聴席の前方に立つと真下に議員席を見ることができます。聴いている人、何か書いている人、自分の発言用意書類を読んでいる人、などなど…。成程これも傍聴に来てこそ観られる景色だとここでも感心。

肝心の陳情書については読み上げられただけで質疑等の問いかけも無く、本当に報告だけで呆気なく終わりました。これだけ？と思いましたが、陳情は議長の判断で議会に披露されないこともあると聞き、取り上げられただけでも良しとすべきなのか否か。

陳情の結果については後日議会事務局より封書が届きましたが、審議の結果、賛成数が足りず否決とありました。

残念ではありましたが、この陳情行動が議員の皆さんに考えて頂くきっかけになったらいいなあと僅かながらも希望を持たずにいられません。

Y.M

地方の時代の道標

E F C 自給圏

文教厚生常任委員会の今年度の年間テーマは「カーボンニュートラル」。いろいろな意見から環境問題に絞られ、最終的に決まった。委員長として、このテーマをどう具体的に切っていく、先進自治体研修や研究を深め、執行にどういった提言をするか、楽しみだ。

関連する資料を探していて「持続可能な地域社会総合研究所」から発行している調査文献や、研究員の藤山浩二さんの著書にも出てくる考えに、ハツとし、

勉強不足を痛感した。

『E F C 自給圏』。初めて知った。ざっくり言うと、これからの経済、未来の経済、人間中心の経済のキーワードとなる。E はエネルギー、F=フード、C=ケアの自給圏を地域や国単位で確立していくことが経済の目標となるべき、という考え。

このEFCに「E=教育」が追加して、それらをすべて包み込むのが「C=コミュニティー」としている。

エネルギー、食糧、ケア、教育、それらを包含するコミュニティー、「E FCE+C」。この提唱はすごく説得力を持つ。

「働きがいも 経済成長も」「つくる責任 つかう責任」

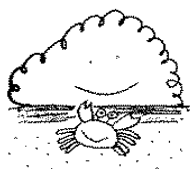
SDGsの目標を取り込んでいこう

先の議会一般質問で、いま地球上で喫緊の課題となっている気候変動や食糧問題、エネルギー配分、人口問題などをグッと寄居町に引き寄せたとき、やっぱり同じ課題を背負っている。

そのためにも行政は、縦割りの対応ではなく、総合力で、近隣自治体と課題共有して、エネルギーの地産地消含め地域発の持続性の高い施策を打ち出すとき、と問うた。

答えは、大里広域市町のゴミ対応はすでに行っている。他の課題解決に地方自治体が連携することは難しい面がある、と噛み合わなかった。

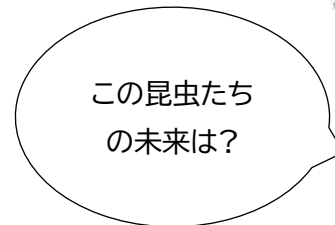
先輩議員がこんなアドバイスをくれた。「テーブルに乗った食べものを食べることに精一杯の者に、ナイフやフォーク、椅子座り加減のことを質問しても答えられない」いま「持続可能」という言葉が飛び交って、どこの自治体でも「持続可能なまちづくり」が言われている。「安心・安全」がどの場面にもぶら下がっているのと似ている。



カーボンニュートラル、E FCE+C 自治圏、安心安全これらの考え方や言葉の中で、では自分たちの暮らしに落とし込んだとき、何ができるのだろうか。浮かぶのはSDGsだ。

2015 年国連サミットで採択された持続可能な開発目標。この目標には17項目ある。中で2つ取り組めそうな項目がある。「働きがいも 経済成長も」「つくる責任 つかう責任」。議員活動の中で、個人として普段の暮らしに落とし込んでいこうと改めて思う。

寄居町議会議員 大北ひさかつ



「議会傍聴」と「会議録の検索と閲覧」と「議会配信」

6月の町議会にエネルギー基本計画についての陳情書が出されたので、久しぶりに議会傍聴に行ってきました。一緒に行った方にどんな感じの所なのか説明しながら、未体験の方には敷居が高く見えるのかなと感じたので、ここでちょっとご案内してみたいと思います。

ザックリいうと映画館と水族館です?!

では出発です。議会が行われる議場は役場 4 階。到着したエレベーターのドアが開くと正面に傍聴席入口が見えます。そこに入ってすぐ左手に無人の受付があるので、傍聴人受付票に住所氏名年齢を記入して投函。奥に進むと傍聴席の入り口のドアがあります。入ると座席があり、映画館のような折り畳み椅子が 4 段位のひな壇になっています。座ると正面がガラス張り。あら～なんだか水族館みたい?!そして2階の窓から地面を見る位下の方に議場が広がっています。向こう正面に議長、その左脇に町長、そして後列に役場の各課の課長、担当者が座っています。議員はそれに対面して(壇上で発言するとき以外は)二列で座っています。つまり議員には傍聴人の気配は

感じられても、休憩時間などにわざわざ振り向いて見上げなければ、傍聴人の顔は分からないのです。議員の発言中は議長の前の方壇上に上がりますので、ある程度は分かると思いますが、それも答弁の最中ですから。そして議長はじめ町職員からも、よほどまじまじと見ない限り、かなりの距離があるので、同じように顔ははっきりと見えなと思います。ですから傍聴席に座ることに、緊張感を感じることはほとんど無いと思います。

初めて行くとなった時、なんとなく平場の大きな会議室のような部屋で、議員さんのぎりぎり近くで傍聴する様なイメージでビビってた私でしたが。さてブザーが鳴って議会が始まりました。途中で退席してもご説明したような場所ですので全く問題ありませんからご安心を。ちなみに本会議のみ、一階ロビーのテレビに中継もされていますね。



H.P をのぞいてみよう

寄居町議会 HP には「会議録 会議録の検索と閲覧」(7月未現在で3月議会の分まで読めます。)と、「議会録の配信」というバナーもあり、こちらでは6月議会も視聴できます。専門用語が多く、全く知らない内容だと、私にはかなり分からないのですが、めげずに何回か読んでいるとなるとなると、多分こんな事が、今、町で問題になって議論されているんじゃないかなと輪郭が見えてきます。

議会だよりや、大北議員の議会レポートを読みつつ、録画や会議録を見て、まちネットでやっている「はてなサロン」の中で大北議員から直接、報告を聞く、質問をすると、町の問題課題がより深く分かってオモシロイですよ。

次回の「はてなサロン」は8月下旬に開催予定です。どうぞ来てみて下さい！ (KY)



ネット会員募集

毎日の暮らしの中で、感じていること、困っていることなど皆で話すことからスタートです。私発が原点です。安心して暮らせる地域を私たちの手で。ぜひ、お仲間になってください。

問合せ：大北 (080-5933-7154)

※ショートメールでもOKです。

8月22日(土)
午後1時半から
「はてなサロン」
開催します!
男衾コミセン
会議室 A だよ



編集後記

2021年、上半期もあっという間に過ぎ去っていった。とはいえ私にはながい半年の感もあり。新型コロナに始まり、感染拡大による緊急事態宣言の繰り返し。ワクチン接種騒ぎ、その渦中での都議会議員選挙、東京オリンピック、パラリンピックこの状態で本当に開催するの？誰もが一度や二度は首をかしげた事態だ。オリンピックが政治の道具となり、企業の利益優先の無理やり開催でしかない。と多くの人を感じている。そんな中、わが家でも一大騒ぎが4月になって始まる。連れ合いが、余命3ヶ月の誤診からは救われたが、厄介な病との付き合いが始まった。長期戦になりそうだが、何とか議会活動は継続している。当たり前と感じている日常から一転、社会的弱者となってこそ見えることがたくさんある。と当人は自分の新たな役割を痛感したという。まだまだやりたいこと、やれることがある。

目の前に迫ってきた2030年同様、2025年問題も深刻だ。あふれる高齢者。介護の現実には想像を絶する状況だ。長生きはしたくないと漏れ聞こえてくる。

H.O